

ディーラーマニュアル

SHIMANO STEPS E6000 シリーズ

SC-E6000
SW-E6000
FC-E6000
DU-E6000
BT-E6000
SM-BME60
SM-BCE60

目次

重要なお知らせ	4
安全のために	5
取付け	9
各部の名称.....	10
製品の仕様.....	11
サイクルコンピュータの取付け	11
サイクルコンピュータの取付けと取外し	12
サイクルコンピュータの角度調整	12
アシストスイッチの取付け.....	13
SM-EWE1を使用したハンドル周りの取付け方法	13
バッテリーホルダーの取付け.....	14
バッテリーの取付け.....	15
スピードセンサーの取付け.....	15
磁石の取付け	16
ドライブユニットの取付けと配線	18
ドライブユニットの取付け.....	18
ドライブユニット配線図	18
電源ケーブルの接続.....	19
エレクトリックワイヤーの取付け	20
サイクルコンピュータとアシストスイッチ、ドライブユニットの接続.....	20
ドライブユニットとスピードセンサーの接続.....	21
ライトアダプターとドライブユニットの接続.....	21
クランクとフロントギアの取付け	23

バッテリーの充電	26
バッテリーの上手な使い方.....	26
バッテリーの充電方法.....	26
バッテリー残量表示.....	27
バッテリー残量表示ランプ エラー表示.....	28
サイクルコンピュータの表示と設定	30
アシストスイッチの名前と働き.....	30
サイクルコンピュータの基本画面表示.....	30
設定メニューの起動と終了.....	33
設定の変更方法.....	34
サイクルコンピュータエラーメッセージ.....	37
PCとの接続通信	40
E-tube Projectで設定変更可能な項目.....	41
PCとの接続方法.....	42
メンテナンス	45
フロントギアの交換.....	45

重要なお知らせ

- ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取付けないでください。記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業せず、購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書も併せてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造はおこなわないでください。
- 全ての取扱説明書・ディーラーマニュアルはウェブサイト (<http://si.shimano.com>) でご覧いただけます。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。

安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険

「死亡や重傷を負う恐れが大きい内容」です。

警告

「死亡や重傷を負う恐れがある内容」です。

注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

安全のために

危険

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

■バッテリーの取扱いについて

- バッテリーに直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない。液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。
- バッテリーをストーブなどの熱源のそばに放置しない、また電池を火の中に投入したり、加熱しない。破裂・発火の原因になります。
- バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げたりしない。発熱・破裂・発火の原因になります。
- バッテリーを水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない。発熱・破裂・発火の原因となります。
- 充電は当社指定の充電器を使用し、当社指定の充電条件を守る。発熱・破裂・発火の原因となります。

警告

- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。
その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトやナット等が緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。また、調整が正しくない場合、不具合が発生し、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
-  部品の交換など、メンテナンス作業中は、安全メガネまたはゴーグルを着用し、眼を保護してください。
- ここに記載されていない製品につきましては、各製品に同梱されている取扱説明書をご覧ください。
- ディーラーマニュアルはよくお読みになった後、大切に保管してください。

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 走行中はサイクルコンピュータの表示に目をうばわれない。さもないと転倒事故等の恐れがあります。
- 乗車前に車輪が固定されていることを確認する。さもないと転倒して重傷を負う恐れがあります。
- 電動アシスト自転車の発進特性に十分慣れてから車通りや人通りの多い道路で乗車する。さもないと急発進して事故を起こす恐れがあります。
- 夜間走行時にはライトの点灯確認を行う。

■リチウムイオンバッテリー

- バッテリーが漏液して液が目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の治療を受ける。放置すると液により、目に障害を与える原因になります。
- 充電は湿気が多い場所や、屋外では行わない。感電の恐れがあります。
- プラグの抜き差しは水に濡れた状態で行わない。感電の恐れがあります。もしプラグ内が濡れた場合には乾燥させた後に挿してください。
- 6時間を超えてバッテリーを充電している場合は、ただちにコンセントを抜いて、販売店へ相談する。さもないと発熱・破裂・発火の原因となります。
- 外装に目立ったキズや破損のあるバッテリーは使用しない。さもないと破裂・発熱・故障の原因となります。
- バッテリーの使用温度範囲は以下です。範囲外での使用はしない。範囲外での使用・保管は、発火・障害・故障の原因となります。
 1. 放電時：-10℃ ~ 50℃
 2. 充電時：0℃ ~ 40℃

■自転車への組付け、整備に関する事項

- 自転車への配線作業、組み付け作業は、必ずバッテリーを外した状態で行う。さもないと感電します。
- 製品を取付けるときは、必ず取扱説明書等に示している指示を守る。その際には、シマノ純正部品の使用をお奨めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して重傷を負う恐れがあります。
- メンテナンスの頻度は、ライディングの状況により異なります。チェーンを適切なチェーンクリーナーで定期的に洗浄する。錆び落とし等のアルカリ性、あるいは酸性の洗浄液は決して使用しない。これらを使用するとチェーンが破損し、重傷を負う恐れがあります。

▲ 注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 自転車の取扱説明書に従って、安全に走行する。
- 充電器が損傷していないか、特にコード、プラグおよび筐体を定期的に確認する。充電器が損傷している場合、修理するまでは絶対に使用しないでください。
- 製品は、安全責任を持つ人による監督や、製品の使用指導のもとで使用する。子供を含めて身体的、感覚的、精神的能力が減少している人、または経験や知識のない人には使用させないでください。
- 製品のそばで子供を遊ばせない。
- 故障あるいは異常が発生した場合には最寄りの販売店にご相談ください。
- システムの改造はシステムに異常をきたす恐れがありますので絶対に行わないでください。

■リチウムイオンバッテリー

- バッテリーを直射日光の当たる場所、炎天下駐車車の車内など、高い温度になる場所に放置しない。電池を漏液させる原因になるおそれがあります。
- バッテリーの液が皮膚、衣類に付着した場合、ただちにきれいな水で洗い流す。皮膚に傷害を起こす原因となります。
- バッテリーは乳幼児やペットの手の届かないところに保管する。

使用上の注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 使用していないコネクタには必ずキャップを取付けてください。
- 製品の取付け、調整は販売店にご相談ください。
- 製品は雨天走行に耐える防水設計になっていますが、水中にはつけないでください。
- 高圧洗車は行わないでください。水分の浸入により故障、あるいはサビの原因となります。
- 製品は丁寧に扱い強い衝撃を与えないでください。
- バッテリーを外した状態でも自転車として機能しますが、電気アシストシステムにライトが接続されている場合は点灯しません。この場合、ドイツにおける道路交通法を満たしませんのでご注意ください。
- このユーザーマニュアルに記載されている重要な情報の一部は機器ラベルにも記載されています。
- バッテリーのキーに記載されているナンバーは、スペアキーを再購入する際に必要です。大切に保管してください。
- バッテリー、樹脂カバーのお手入れの際は、水で濡らした布をかたく絞って拭いてください。
- 取扱い方法およびメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の経年劣化は保証いたしません。
- 製品のソフトウェアのアップデートは販売店にご相談ください。最新情報はシマノのホームページに公開されます。詳しくは「PCとの接続通信」の項を参照してください。

■リチウムイオンバッテリー



ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内のみ有効です。
使用済みのバッテリー廃棄については、お住まいの地域のルールに従ってください。
ご不明の場合は販売店または代理店にご相談ください。

■自転車への組付け、整備に関する事項

- チェーンの張りすぎなど、正しいセッティングが行われていない場合、適正なアシスト力を得られない場合があります。
- 製品は分解しないでください。分解すると、人体に危害を加える恐れがあります。
- 製品の清掃にシンナー等を使用しないでください。表面を破損する恐れがあります。
- ギアは定期的には中性洗剤で洗浄してください。またチェーンを中性洗剤で洗浄し注油することも、ギア及びチェーンの寿命を延ばす効果があります。

手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

取 付 け

取付け

使用工具一覧

製品の組立には下記の工具が必要です。

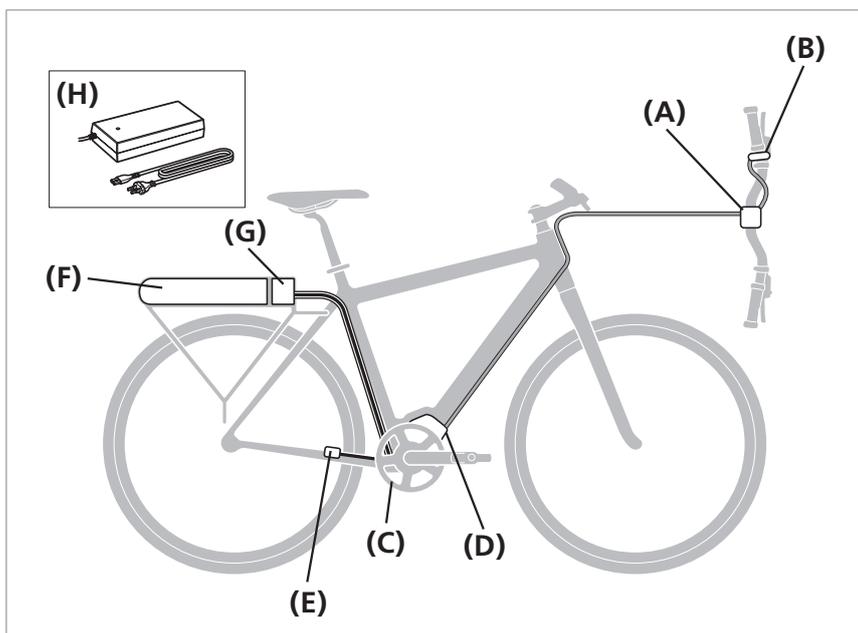
コンポーネント	使用箇所	工 具	
サイクルコンピュータ	ハンドル固定ボルト		プラスドライバー
	角度調整ネジ		プラスドライバー
アシストスイッチ	固定ボルト		プラスドライバー#2
バッテリーホルダー	M5ボルト		アレンキー
	M5ナット		スパナ
スピードセンサー	スピードセンサー固定ボルト		プラスドライバー#2
磁石ユニット	取付ネジ		プラスドライバー#2
エレクトリックワイヤー	コネクター部		TL-EW02
ライトアダプター	ユニット固定ネジ		プラスドライバー#2
ドライブユニット	フレーム取付ボルト		M8ボルト+ナット仕様
	カバー固定ボルト (M3)		プラスドライバー#2
フロントギア	ロックリング		TL-FC36/33/32+TL-FC38
クランクアーム	クランク取付ボルト		14mmソケットレンチ

取付け

各部の名称

各部の名称

機械式変速の場合

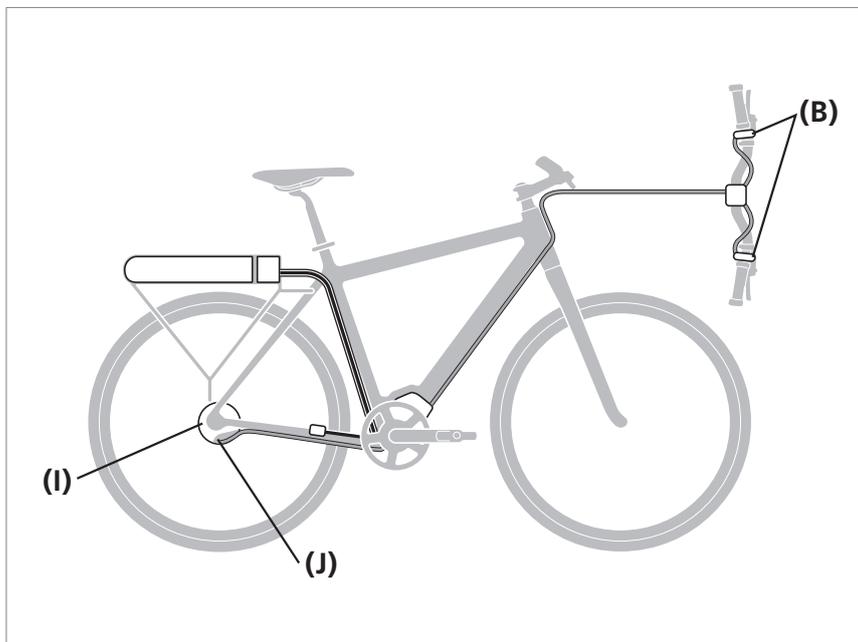


(A) サイクルコンピュータ	SC-E6000
(B) アシストスイッチ	SW-E6000
(C) フロントチェーンホイール	FC-E6000
(D) ドライブユニット	DU-E6000
(E) スピードセンサー	DU-E6000
(F) バッテリー	BT-E6000
(G) バッテリーホルダー	SM-BME60
(H) 充電器	SM-BCE60

==== ワイヤーハーネス

—— E-tube

電動式変速の場合



(B) アシストスイッチ/ シフトスイッチ	SW-E6000
(I) モーターユニット	MU-S705
(J) 内装ハブギア	SG-8R60 SG-S705 SG-S505

==== ワイヤーハーネス

—— E-tube



MU-S705の取付け方法は、「ALFINE S705シリーズ」DMの「モーターユニットのハブへの取付け (MU-S705)」の項を参照してください。

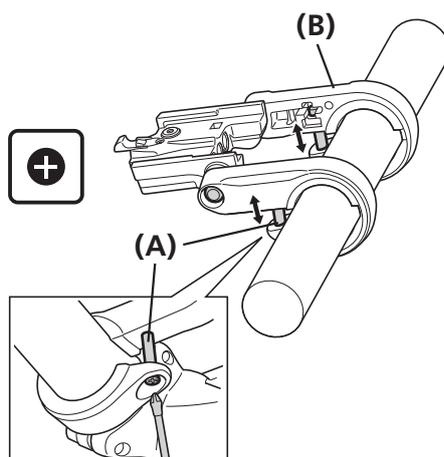
■ 製品の仕様

使用環境温度：放電時	-10 - 50℃	公称容量	11.6 Ah
使用環境温度：充電時	0 - 40℃	定格電圧	36 V DC
保管温度	-20 - 70℃	ドライブユニット方式	ミッドシップ
保管温度 (バッテリー)	-20 - 60℃	モータータイプ	Brush-less DC
充電電圧	100 - 240 V AC	ドライブユニット定格出力	250W
充電時間	約4時間	ドライブユニット最大出力	500W
バッテリータイプ	リチウムイオンバッテリー		

■ サイクルコンピュータの取付け

1 クランプを押し広げてハンドルに取付けます。

ハンドル固定ボルトを取付け、プラスドライバーで締付けてください。



(A) ハンドル固定ボルト
(B) クランプ

ハンドル対応表

φA	φB-φA	アダプター	固定ボルト
φ23.4-φ24	0-1.1	X	15.5mm
φ24-φ25.5	0-1.1	X	20mm
φ31.3-φ31.9	0-0.6	-	20mm

*X: 可



取外しは逆の手順でおこなってください。



締付けトルク：
1 N·m
{10 kgf·cm}

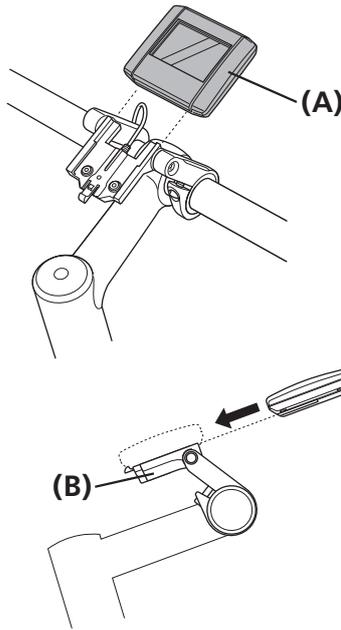
取付け

▶▶ サイクルコンピュータの取付けと取外し

■ サイクルコンピュータの取付けと取外し

1

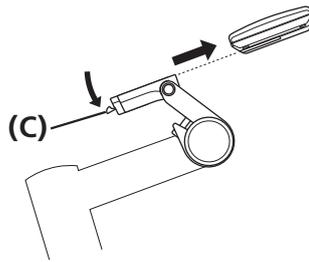
図のようにサイクルコンピュータを
ブラケットにスライドさせて取付け
ます。
パチッと音がするまで確実に差し込
んでください。



(A) サイクルコンピュータ
(B) ブラケット

2

取外すときは、ブラケットのレバー
を押しながらサイクルコンピュータ
をスライドさせて取外してくださ
い。



(C) レバー

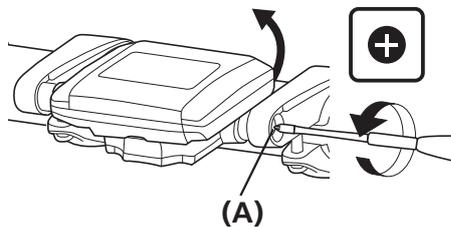


サイクルコンピュータがきちんとはまっ
ていない場合、アシストは正常に動作し
ません。

■ サイクルコンピュータの角度調整

プラスドライバーを使って角度調整ネジ
を緩めます。サイクルコンピュータを乗
車位置から見えやすい角度に調整しま
す。

角度を決めたら指定のトルクで固定して
ください。



(A) 角度調整ネジ



締付けトルク：
0.5 N·m
{5 kgf·cm}

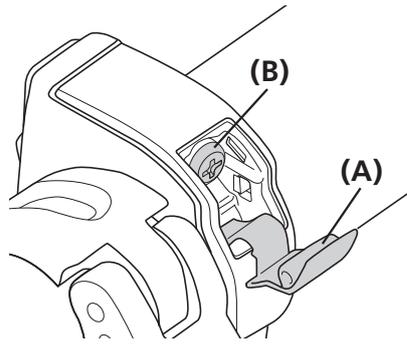
取付け

▶▶ アシストスイッチの取付け

■ アシストスイッチの取付け

1

φ22.2のハンドルバーに、エレクトリックワイヤーが下にくるようにスイッチを通し、固定ボルトカバーを開けます。

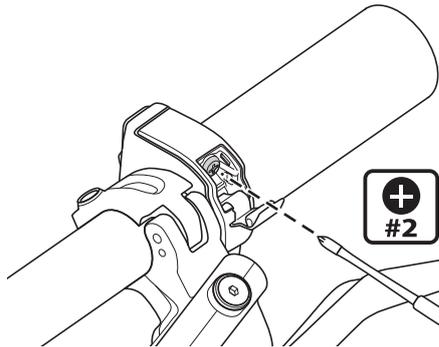


(A) 固定ボルトカバー

(B) 固定ボルト

2

固定ボルトをプラスドライバー#2で締付けてください。



取外しは逆の手順でおこなってください。

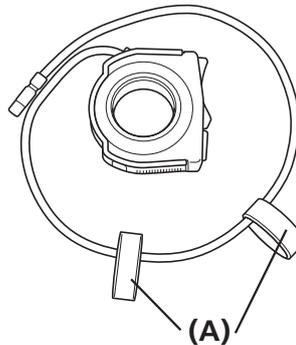


締付けトルク：
1.5 N·m
{15 kgf·cm}

■ SM-EWE1を使用したハンドル周りの取付方法

1

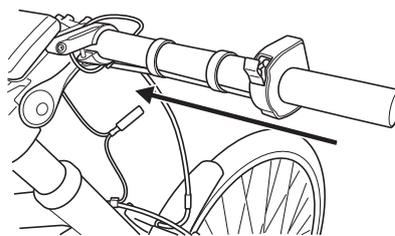
アシストスイッチにSM-EWE1を仮組みします。ハンドルの長さに応じて個数を調整してください。



(A) SM-EWE1

2

SM-EWE1、アシストスイッチを仮組み状態のままハンドルに通します。

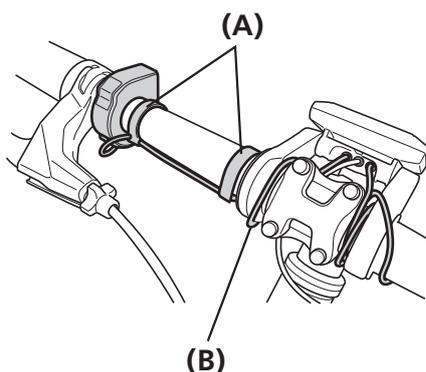


取付け

▶▶ バッテリーホルダーの取付け

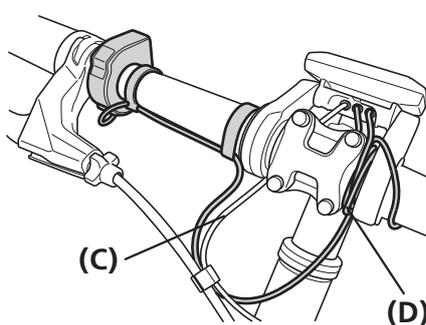
エレクトリックワイヤーの固定例

固定例1：サイクルコンピュータとステムの間で余ったエレクトリックワイヤーを巻き取り、サイクルコンピュータに接続します。



- (A) SM-EWE1
- (B) 余剰分の巻き取り箇所

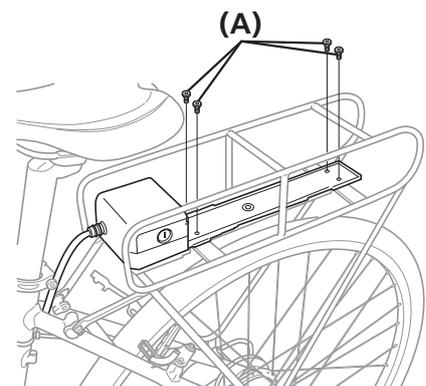
固定例2：サイクルコンピュータのエレクトリックワイヤーと一緒にブレーキアウターを経由し、サイクルコンピュータに接続します。



- (C) サイクルコンピュータ側エレクトリックワイヤー
- (D) ハンドルの後ろ側を通すルート

■ バッテリーホルダーの取付け

キャリアとバッテリーホルダーの取付け穴を合わせます。バッテリーホルダー上部からキャップ付きボルト (M5) を通してキャリアに固定してください。



- (A) キャップ付きボルト (M5)



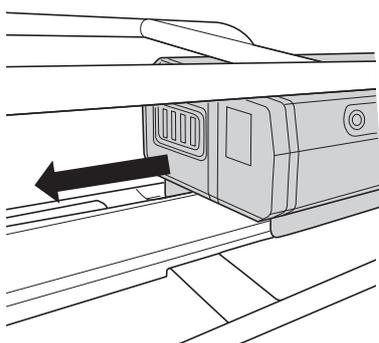
ボルト等はシマノ製品には含まれていません。メーカーが用意するものをご使用ください。

取付け

▶▶ バッテリーの取付け

■ バッテリーの取付け

バッテリーを後方からホルダーのレールに差し込み、前方向にスライドさせます。最後までしっかりと押し込んでください。



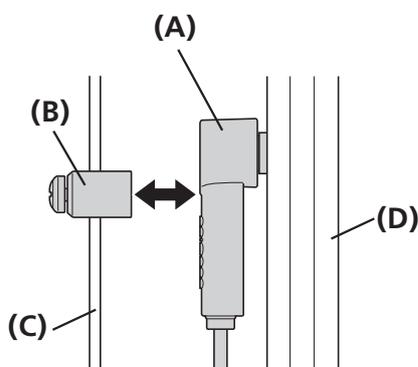
注意

脱落防止のために、取付け後は鍵がロックされていることを必ず確認してください。

■ スピードセンサーの取付け

1

まず、取付けた時にスピードセンサーと磁石ユニットとの距離が3mm~17mm以内に収まるかを確認します。



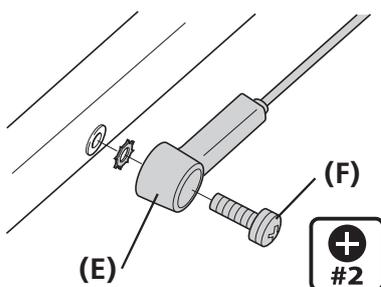
- (A) スピードセンサー
- (B) 磁石ユニット
- (C) スポーク
- (D) チェーンステア



ホイールのフレヤ、フレームの歪み等も込みで17mm以内になしてください。

2

範囲内に収まる場合は、歯付座金をチェーンステアとの間に入れ、スピードセンサー固定ボルトで取付けてください。

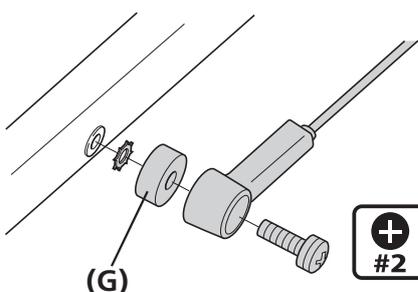


- (E) 歯付座金
- (F) スピードセンサー固定ボルト

+
#2
締付けトルク：
1.5 - 2 N·m
{15 - 20 kgf·cm}

3

スピードセンサーと磁石ユニットの距離が17mmを超える場合は、スペーサーを入れて調整します。



- (G) スペーサー

+
#2
締付けトルク：
1.5 - 2 N·m
{15 - 20 kgf·cm}

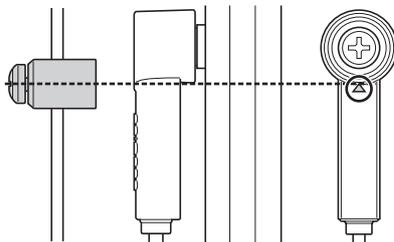
取付け

▶▶ 磁石の取付け

■ 磁石の取付け

磁石の取付け位置

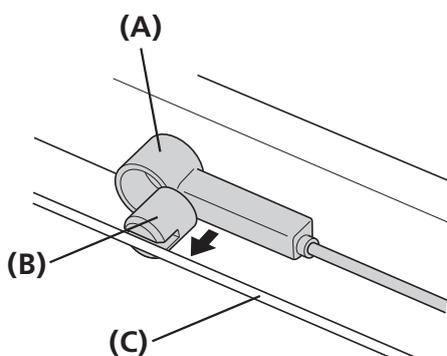
スピードセンサー本体の△マークの頂点に磁石の中心が来るようにして取付けます。



磁石の取付け方

スピードセンサーと磁石の位置を図のように合わせます。

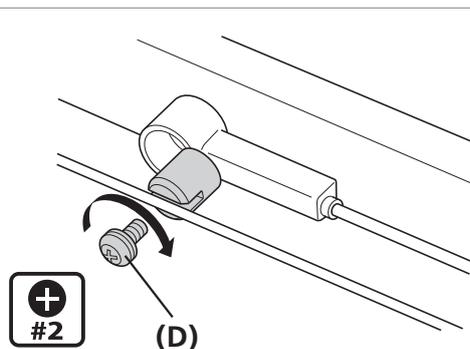
1



(A) スピードセンサー
(B) 磁石ユニット
(C) スポーク

プラスドライバーで取付ネジを締付けます。

2



(D) 取付ネジ



締付けトルク：
1.5 - 2 N·m
{15 - 20 kgf·cm}

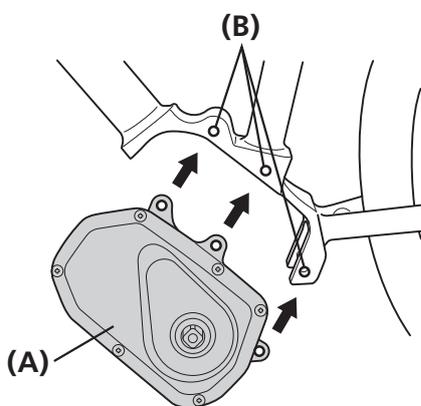
ドライブユニットの取付けと配線

ドライブユニットの取付けと配線

■ ドライブユニットの取付け

1

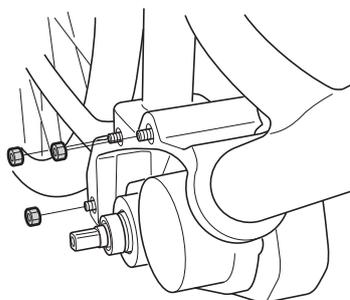
ドライブユニットとフレームの取付け穴3か所を合わせます。



(A) ドライブユニット
(B) 取付け穴

2

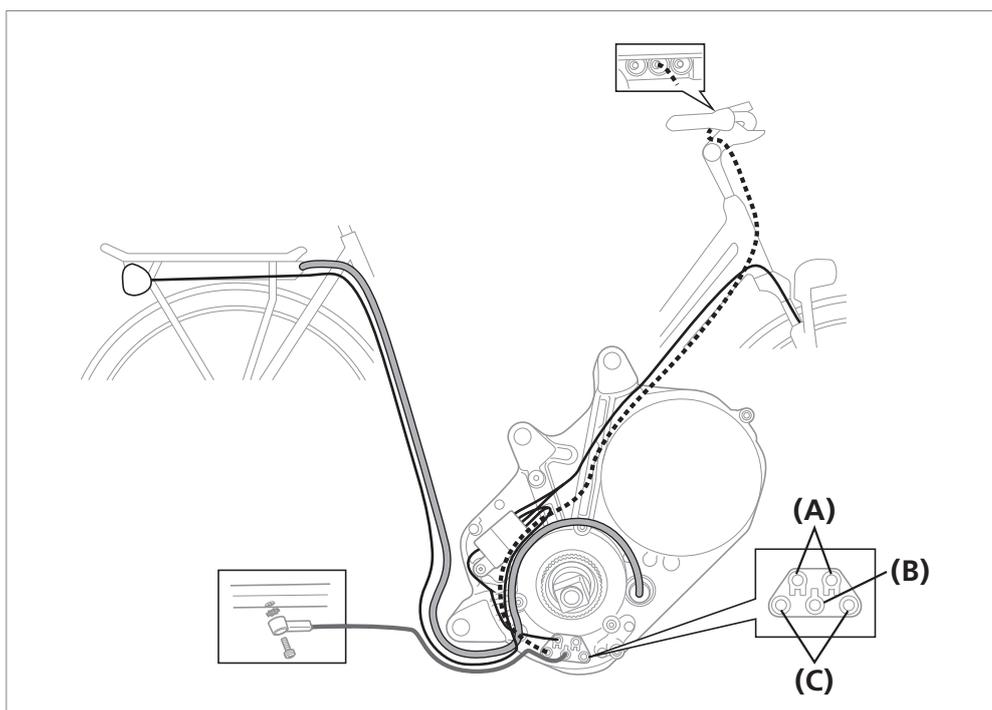
フレーム左側からM8ボルトを通し、右側にナットを取付け、指定のトルクで締付けてください。



ボルト等はシマノ製品には含まれていません。メーカーが用意するものをご使用ください。

締付けトルク：
28 - 32 N·m
{280 - 320 kgf·cm}

■ ドライブユニット配線図



(A) ライトコネクター
(B) スピードセンサーコネクター
(C) エレクトリックワイヤーコネクター

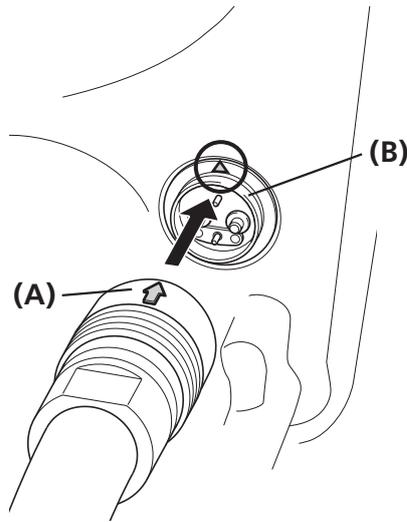


左図の配線は一例です。

■ 電源ケーブルの接続

ドライブユニットへの接続方法

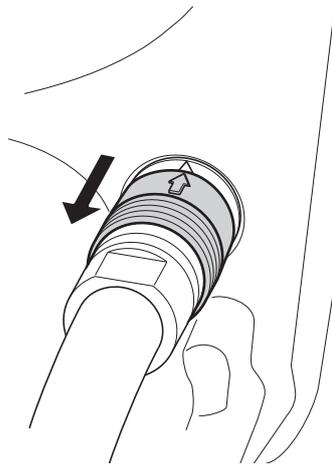
電源ケーブル側コネクターの矢印と、ドライブユニットのレセプターにある△の位置を合わせて差し込みます。カチッとロックがかかるまで差し込んでください。



- (A) 電源ケーブル側コネクター
- (B) ドライブユニットレセプター

ドライブユニットからの取外し

コネクターの先端部分を手前にスライドさせることで、ロックを解除する機構になっています。取外す際は先端の溝部分をつまみ、そのまま手前に引き抜いてください。



■ エレクトリックワイヤーの取付け

1

細いエンド部の溝にコネクタの突起を合わせてセットします。

OK

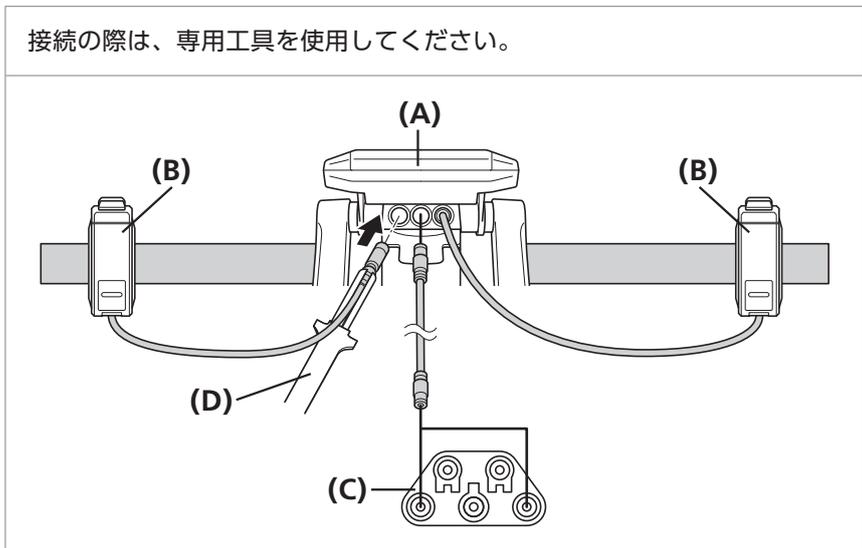
不可

- (A) TL-EW02
- (B) プラグ部

注意

エレクトリックワイヤーの取付け、取外しの際は、専用工具を使用してください。エレクトリックワイヤーを取付ける際に、プラグ部を無理にまげて取付けないこと。接触不良の原因になることがあります。エレクトリックワイヤーを接続する際はクリック感を伴うまで押し込んで下さい。

■ サイクルコンピュータとアシストスイッチ、ドライブユニットの接続



- | | |
|--------------------------|----------|
| (A) サイクルコンピュータ | SC-E6000 |
| (B) アシストスイッチ/
シフトスイッチ | SW-E6000 |
| (C) ドライブユニット | DU-E6000 |
| (D) TL-EW02 | |

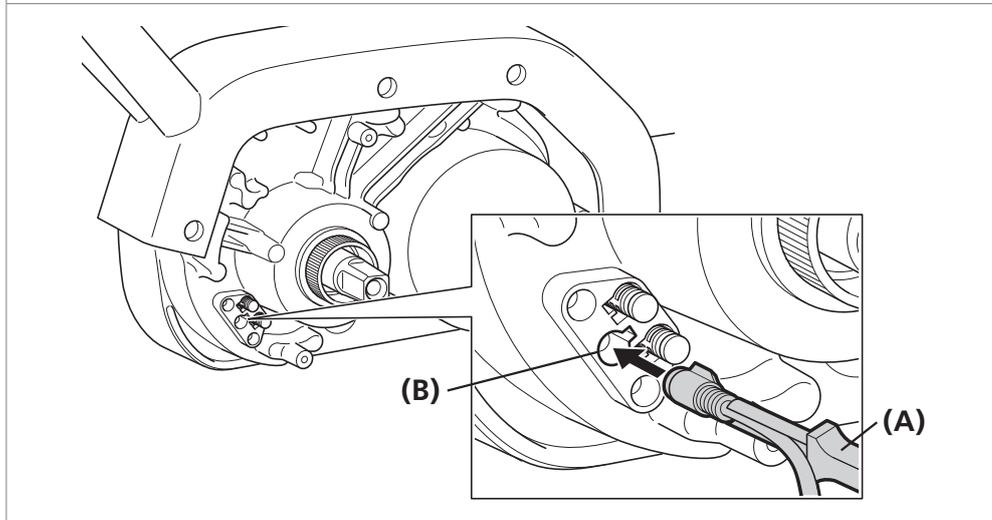
エレクトリックワイヤーのコネクタは、どのポートでも接続できますが、アシストスイッチの配線は、スイッチ側ポートへ接続することを推奨します。

ドライブユニットの取付けと配線

▶▶ ドライブユニットとスピードセンサーの接続

■ ドライブユニットとスピードセンサーの接続

専用工具を使用して、スピードセンサーユニットの電気ワイヤーをドライブユニットのスピードセンサーコネクタに接続します。

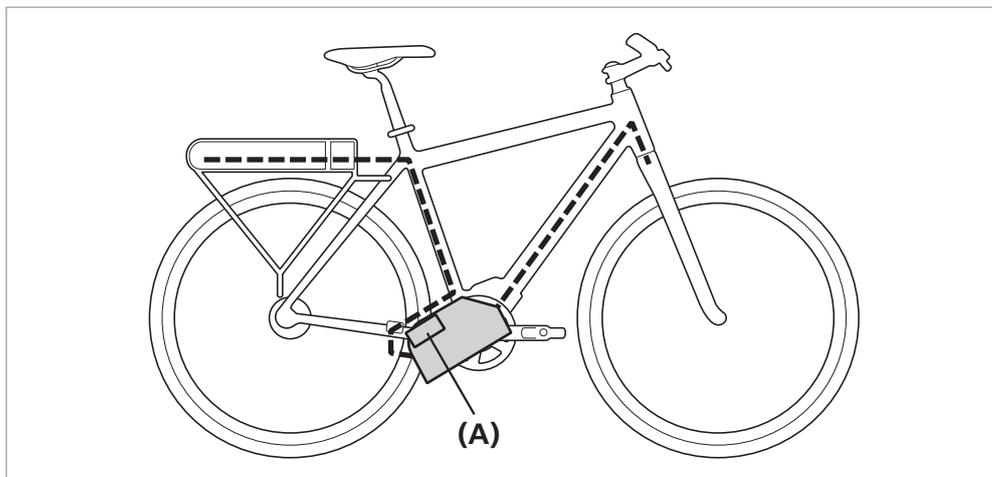


(A) TL-EW02

(B) スピードセンサーコネクタ

■ ライトアダプターとドライブユニットの接続

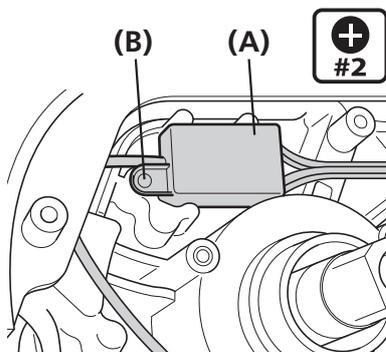
ライトアダプターを使用してライトを接続する場合、下記のように引き回します。



(A) ライトアダプター
SM-DUE01

1

クランクとカバーを外し、ライトアダプターを図の向きで取付けます。ドライブユニットにユニット固定ネジで固定してください。



(A) ライトアダプター
SM-DUE01

(B) ユニット固定ネジ



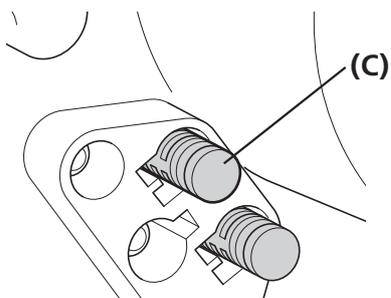
締付けトルク：
0.6 N·m
{6 kgf·cm}

ドライブユニットの取付けと配線

▶ ライトアダプターとドライブユニットの接続

2

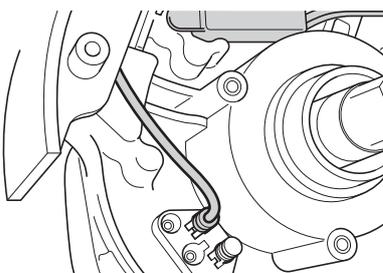
ドライブユニットに取付いているダミープラグをTL-EW02を使用して取外します。



(C) ダミープラグ

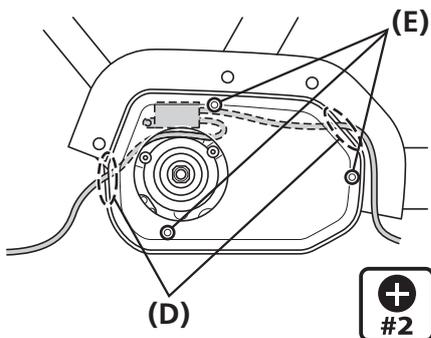
3

ライトアダプターのコネクターをドライブユニットに取付けます。



4

フロントライトケーブル、テールライトケーブルを図の位置から引き出して、カバーを取付けます。3か所をカバー固定ボルト (M3) で締付けてください。



(D) 引き出し穴

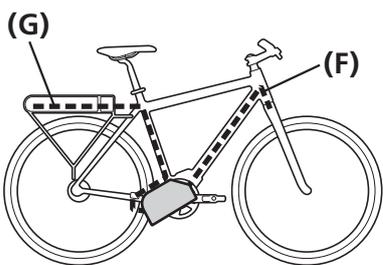
(E) カバー固定ボルト (M3)



締付けトルク：
0.6 N·m
{6 kgf·cm}

5

ライトアダプター近辺で、ライトケーブルをエレクトリックワイヤーに固定し、フレームに沿って引き回してください。



(F) フロントライトケーブル

(G) テールライトケーブル

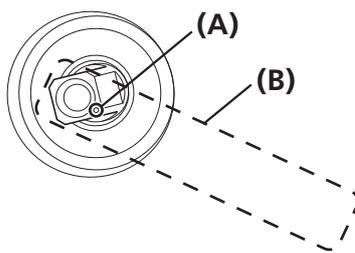


対応するライトは完成車メーカーにお問い合わせください。

■ クランクとフロントギアの取付け

1

左側クランクを取付けます。
四角軸にある丸いポッチとクランク
アームの取付け方向を図のように合
わせてください。

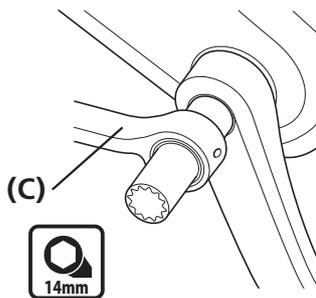


(A) ポッチ

(B) クランクアーム取付け方向

2

クランクアーム固定ボルトを取付
け、14mmソケットレンチを使用
して締付けます。



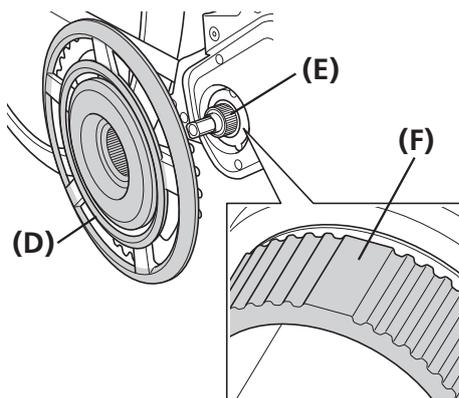
(C) 14mmソケットレンチ



締付けトルク：
35 - 50 N·m
{350 - 500 kgf·cm}

3

フロントギアをギア固定部に取付け
ます。
ギア固定部の幅広部とギアの切り欠
き部を合わせて差し込んでくださ
い。



(D) フロントギア

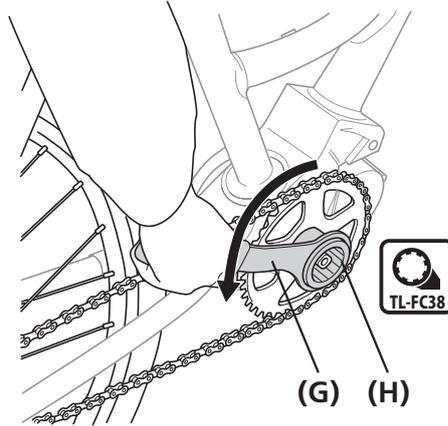
(E) ギア固定部

(F) 幅広部

▶▶ クランクとフロントギアの取付け

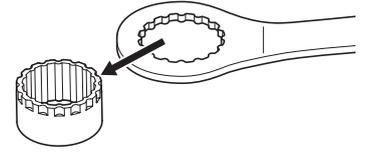
4

ロックリングを手で締込み、専用工具を取付けます。
左クランクを保持し、ロックリングを図の方向に締付けてください。



(G) TL-FC36/FC32/FC33

(H) TL-FC38



ロックリングは左ネジです。



締付けトルク：
35 - 45 N·m
{350 - 450 kgf·cm}

5

右側のクランクアームを左側のクランクアームと対照の方向に差し込み、クランクアーム固定ボルトを取付けて左側と同様に締付けます。
最後にクランクアームキャップを取付けてください。



締付けトルク：
35 - 50 N·m
{350 - 500 kgf·cm}

バッテリーの充電

バッテリーの充電

■ バッテリーの上手な使い方

充電は電池残量によらず自由に行えますが、以下の場合、満充電まで一気に充電してください。充電は必ず専用充電器を使用してください。

- 出荷状態ではバッテリーは満充電されていません。走行する前に必ず満充電まで充電してください。
- 自転車を長期間使用しない場合は、バッテリーを充電してから保管してください。

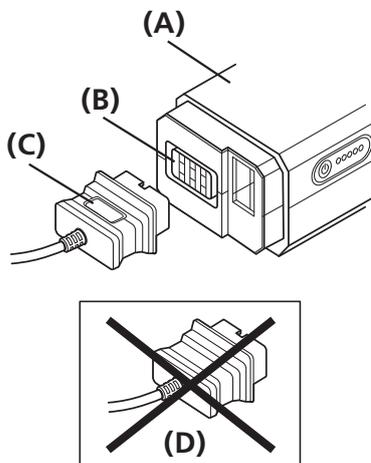
バッテリーを完全に放電しきった際は、速やかに充電してください。そのまま放置した場合、電池の劣化が進行します。

- 長期間自転車に乗らない場合は、定期的に充電するようにしてください。また、完全放電をしないようにしてください。

■ バッテリーの充電方法

1

充電器のプラグをバッテリー本体の充電器コネクタに挿入します。コネクタの凹みがある側を上にして差し込んでください。
* 凹部を下にした状態では差し込めません。

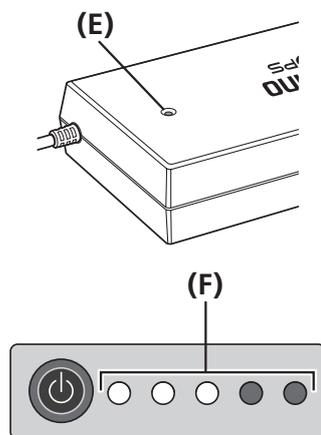


- (A) バッテリー
- (B) 充電器コネクタ
- (C) 凹部
- (D) 裏側 (凹部なし)

2

充電が開始されると、充電器のLEDランプが点灯します。バッテリー側のバッテリー残量表示ランプで、現在の充電状況が確認できます。

● 点灯	充電中 (充電完了後1時間以内)
☀ 点滅	充電エラー
● 消灯	バッテリー未接続 (充電完了後1時間以上経過)



- (E) 充電器LEDランプ
- (F) バッテリー残量表示ランプ

危険

充電は当社指定の充電器を使用し、当社指定の充電条件を守る。さもないと発熱・破裂・発火の原因となります。



- 出荷状態ではバッテリーは使用できません。走行する前に必ず満充電まで充電してください。
- 新車の状態で長期保存する場合は、使用を開始する直前に充電してください。一度充電すると、わずかですがバッテリーの劣化が始まります。

■ バッテリー残量表示

充電中表示

Battery charge display	Battery level
	0%~20%
	21%~40%
	41%~60%
	61%~80%
	81%~99%
	100%

充電器および自転車に接続していない場合の表示

Battery charge display	Battery level
	100%~81%
	80%~61%
	60%~41%
	40%~21%
	20%~1%
	0%
	電源OFF / シャットダウン

自転車に装着している場合の表示

電源ONした場合、全点灯しています。残量を知りたい場合は、サイクルコンピュータの表示を確認してください。

■ バッテリー残量表示ランプ エラー表示

エラー表示種別	表示条件	点灯パターン *1	復帰方法
システムエラー	自転車システムとの通信異常		ケーブルが抜けていないか、配線が間違えていないかを確認してください。 状況が回復しない場合は、代理店に問い合わせてください。
温度保護	温度が動作保証範囲を超えた場合、バッテリーの出力を停止します。		直射日光を避けた涼しい場所で、バッテリー内部温度が十分下がるまで放置してください。 状況が回復しない場合は、代理店に問い合わせてください。
セキュリティ認証エラー	正規のドライブユニットが接続されていない場合に表示されます。ケーブルが一部断線している場合に表示されます。		正規のバッテリーとドライブユニットを接続させてください。 ケーブルの状態を確認してください。 状況が回復しない場合は、代理店に問い合わせてください。
充電エラー	充電中に異常があった場合に表示されます。		バッテリーと充電器の接続コネクタを取り除き、バッテリー単体で、電源スイッチを押してください。 バッテリー単体でエラーが表示された場合は、代理店に問い合わせてください。
バッテリー故障	バッテリー内部の電気異常		一端充電器に接続した後に取り外し、バッテリー単体の状態で電源スイッチを押してください。 バッテリー単体でエラーが表示された場合は、代理店に問い合わせてください。

*1 ●：無灯 ○：点灯 ：点滅

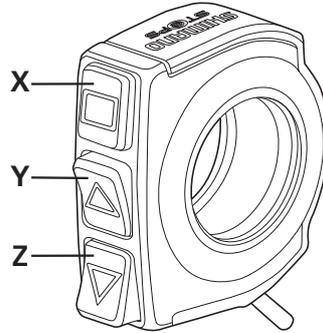
サイクルコンピュータの表示と設定

サイクルコンピュータの表示と設定

ここでは、スイッチ設定が初期設定の場合の操作方法を説明しています。

■ アシストスイッチの名前と働き

X	サイクルコンピュータの表示切替
Y	アシスト切替時：アシスト力が強くなる 変速切替時：ペダリングが重くなる
Z	アシスト切替時：アシスト力が弱くなる 変速切替時：ペダリングが軽くなる



■ サイクルコンピュータの基本画面表示



- (A) 速度
現在の速度を表示します。
- (B) 時刻
現在の時刻を表示します。
- (C) 速度単位表示
km/hとmphを切替え可能です。

現在の電池残量を、6段階で表示します。

D

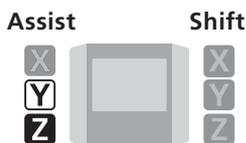
表示	電池残量
	81~100%
	61~80%
	41~60%
	21~40%
	1~20%
	0%

(D) 電池残量表示

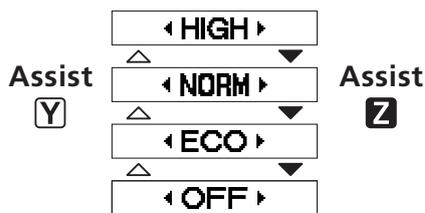


(F)の走行情報表示が「RANGE」の際は、電池残量表示が行われません。

E

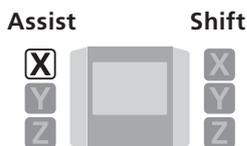


現在のアシストモードを表示します。アシストスイッチのAssist-Y、Assist-Zを押してアシストモードを切替えます。

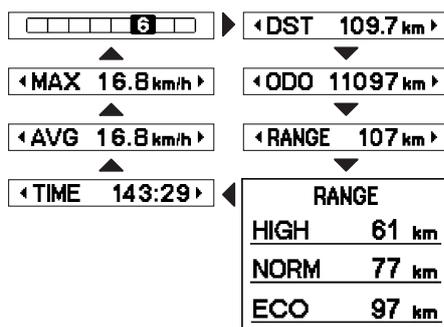


(E) アシストモード表示切替

F



現在のギア段数、または走行情報を表示します。Assist-Xを短押しする毎に走行情報の表示が切替わります。



(F) ギア段数、走行情報の表示

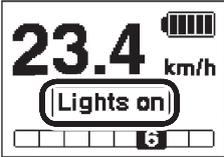
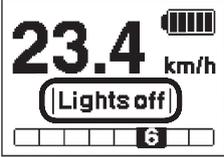
表示	内容								
	ギア段数 (モーターユニット 接続時のみ表示)								
<DST 109.7 km>	走行距離								
<ODO 11097 km>	積算距離								
<RANGE 107 km>	走行可能距離*1								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">RANGE</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HIGH</td> <td>61 km</td> </tr> <tr> <td>NORM</td> <td>77 km</td> </tr> <tr> <td>ECO</td> <td>97 km</td> </tr> </tbody> </table>	RANGE		HIGH	61 km	NORM	77 km	ECO	97 km	走行可能距離 (オプション)*2
RANGE									
HIGH	61 km								
NORM	77 km								
ECO	97 km								
<TIME 143:29>	走行時間 (オプション)*2								
<AVG 16.8 km/h>	平均速度 (オプション)*2								
<MAX 16.8 km/h>	最大速度 (オプション)*2								



*1 「RANGE」表示の際は、(D)の電池残量が表示されません。また、走行可能距離は参考値です。

*2 オプション項目：E-tube Projectで表示の設定ができます。詳しくは「PCとの接続通信」-「E-tube Projectで設定変更可能な項目」を参照してください。

バッテリー駆動ライトの点灯/消灯方法

<p>Assist Shift</p> <p>2秒 X X</p> <p> Y Y</p> <p> Z Z</p>  <p>E-tube projectでライトが設定されている時にAssist-Xを2秒間押し続けると、時刻表示とアシストモード表示に代わって表示されます。表示される毎にライトの点灯と消灯が切替わります。表示時間は約2秒間です。</p>	<p>ライト点灯時</p>  <p>↕</p> <p>ライト消灯時</p> 
--	--



ライトの点灯消灯は、バッテリー本体電源のON/OFFと連動します。本体の電源がOFFのときにライトは点灯しません。

走行距離のクリア方法

ライトが接続されていない場合、メイン画面で走行距離のクリアが実行できます。ライトアダプターが接続設定されている場合は、「設定の変更方法」-「設定クリア(Clear)」を参照して走行距離のクリア(DST)を行ってください。

<p>1</p> <p>Assist Shift</p> <p>2秒 X X</p> <p> Y Y</p> <p> Z Z</p>  <p>走行情報表示をDST表示にして、Assist-Xを2秒間押し続けます。</p>	
---	--

<p>2</p> <p>Assist Shift</p> <p>X X</p> <p>Y Y</p> <p>Z Z</p>  <p>DST表示部が点滅を始めたら指を離します。その状態でもう一度Assist-Xを押すと走行距離がクリアされます。</p>	
---	---

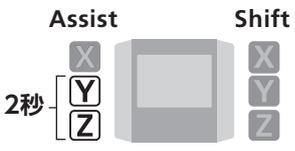


- 5秒間放置すると、DST表示の点滅が終了して、基本画面に戻ります。
- 走行距離のクリアを行うと、TIME・AVG・MAXも同時にクリアされます。

■ 設定メニューの起動と終了

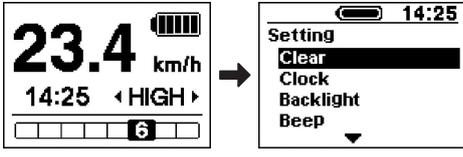
起動方法

1

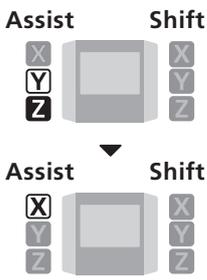


2秒

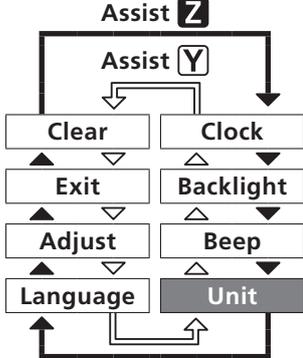
停車状態で、Assist-YとAssist-Zを同時に2秒間長押しすると、設定画面が表示されます。



2



Assist-YまたはAssist-Zを押して、設定したい項目にカーソルを移動します。
Assist-Xを押すと選択した項目の設定画面を表示します。



項目	内容
Clear	設定クリア
Clock	時計設定
Backlight	バックライト設定
Beep	ビーブ設定
Unit	km / mile切替え
Language	言語設定
Adjust	電動変速ユニットの変速調整
Exit	メイン画面に戻る

終了方法 (Exit)

- 1** Assist-YまたはAssist-Zを押して、カーソルを「Exit」の位置に移動します。
- 2** Assist-Xを押すと、設定メニューを終了し、基本画面に戻ります。

■ 設定の変更方法

設定クリア (Clear)

走行距離をクリアする。または表示設定をデフォルト値に戻します。

1

Assist

X

Y

Z

X

Y

Z

Assist-YまたはAssist-Zを押して、設定したい項目にカーソルを移動します。

14:25

Clear

Exit

DST 109.7 km

Default

▼

項目	内容
Exit	設定メニュー画面に戻る
DST	走行距離クリア
Default	SC表示設定をデフォルト値に戻す

SC表示設定で設定されるデフォルト値

項目	デフォルト値
Backlight	ON
Beep	ON
Unit	km
Language	English

2

Assist

X

Y

Z

X

Y

Z

Assist-Xを押すと、カーソルのある設定値が有効となり、「設定メニュー」画面に戻ります。

14:25

Setting

Clear

Clock

Backlight

Beep

▼



走行距離のクリアを行うと、TIME・AVG・MAXも同時にクリアされます。

時計設定 (Clock)

時刻の設定を行います。

1

Assist Shift



Assist-YまたはAssist-Zを押して時刻を合わせます。




Assist-Yを押すと時間が進みます。
Assist-Zを押すと時間が戻ります。

2

Assist Shift



Assist-Xを押すと、設定が有効となり、分の設定へ移動します。



3 Assist-YまたはAssist-Zを押して分を合わせます。

4 Assist-Xを押すと、設定が有効になり、「設定メニュー」画面に戻ります。

Assist Shift Assist Shift




Assist-YとAssist-Zは、長押しすることで、高速に数字を切替えることができます。

バックライト設定 (Backlight)

バックライトの設定を行います。

1

Assist Shift



Assist-YまたはAssist-Zを押して、設定したい項目にカーソルを移動します。

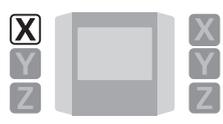


項目	内容
ON	常時点灯
OFF	常時消灯
MANUAL	バッテリー駆動ライトのON/OFFに連動する

2

Assist-Xを押すと、設定が有効になり、「設定メニュー」画面に戻ります。

Assist Shift

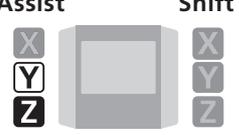


km / mile切り替え (Unit)

距離単位の設定を行います。

1

Assist Shift



Assist-YまたはAssist-Zを押して、設定したい項目にカーソルを移動します。



項目	内容
km	km表示
mile	mile表示

2

Assist-Xを押すと、設定が有効になり、「設定メニュー」画面に戻ります。

Assist Shift



言語設定 (Language)

言語の設定を行います。

1

Assist Shift



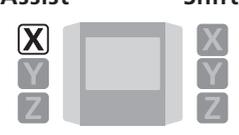
Assist-YまたはAssist-Zを押して、設定したい項目にカーソルを移動します。



2

Assist-Xを押すと、設定が有効になり、「設定メニュー」画面に戻ります。

Assist Shift



■ サイクルコンピュータエラーメッセージ

警告

状況が解消すると消える表示です。
時刻表示に代わってメッセージが表示されます。



警告一覧

コード	発生状況	警告表示中の 動作制限解除条件	対処方法
W010	ドライブユニットが 高温になっています。	アシスト力が低下します。	ドライブユニットの温度が低下するまで、アシスト走行を中止してください。 状況が回復しない場合は、代理店に問い合わせてください。
W011	走行速度が検出できて いません。	アシスト上限速度が低下し ます。(最高ギア段数で 25km/hまでアシスト走行 が可能です。)	車速センサーが正しく取付けられているか確認してくだ さい。 状況が回復しない場合は、代理店に問い合わせてください。
W030	アシストスイッチが システムに2つ以上 接続されています。	電気式変速機の場合、 変速ができません。	アシストスイッチをシフトスイッチに変更する。 もしくは、アシストスイッチ1台のみを接続し、電源を入れ 直してください。 状況が回復しない場合は、代理店に問い合わせてください。
-	ドライブユニットと モーターユニット間 の通信異常が検出さ れました。	電気式変速機の場合、 変速ができません。	ドライブユニットとモーターユニット間のケーブルが正しく 接続されているか確認してください。 状況が回復しない場合は、代理店に問い合わせてください。

エラー

画面全体にエラー表示が出た場合、下記いずれかの方法で表示のリセットを行ってください。

- バッテリーの電源スイッチを押す。
- バッテリーをホルダーから外す。



リセットを行っても解消されない、または現象が頻発する場合は代理店にご相談ください。

エラー一覧

コード	発生状況	エラー表示中の動作制限	対処方法
E010	システム異常が検出されました。	アシスト走行ができません。	電源を入れ直してください。 状況が回復しない場合は、代理店へご相談ください。
E012	トルクセンサーの初期調整に失敗しました。	アシスト走行ができません。	電源を入れ直してください。 状況が回復しない場合は、代理店へご相談ください。
E020	バッテリーとドライブユニット間の通信異常が検出されました。	アシスト走行ができません。	ドライブユニットとバッテリー間のケーブルが正しく接続されているか確認してください。 状況が回復しない場合は、代理店へご相談ください。

PCとの接続通信

PCとの接続通信

PCと自転車(システムまたはコンポーネント)を、PC接続機器を用いて接続し、コンポーネント単品およびシステムのファームウェアアップデート、カスタマイズなどを行うことができます。

SHIMANO STePSの設定やファームウェアアップデートを行うには、E-tube Projectが必要です。サポートサイト(<http://e-tubeproject.shimano.com>)にアクセスし、E-tube Projectをダウンロードしてください。
E-tube Projectのインストール方法はサポートサイトをご確認ください。またPCの操作方法はE-tube Projectのヘルプマニュアルを参照してください。



- SHIMANO STePSをPCと接続する際は、SM-PCE1およびSM-JC40/JC41が必要になります。ただし空きポートがある場合、これらは不要です。
- ファームウェアは予告なく変更される場合があります。

■ E-tube Projectで設定変更可能な項目

スイッチ機能設定	SW-E6000のスイッチX、Y、Z、もしくはSW-S705のスイッチX、Yに割り当てる機能を変更できます。割り当てできる機能はスイッチの種類によって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> • SW-E6000：異なるスイッチに同じ機能を割り当てることはできません。 • SW-S705：異なるスイッチに同じ機能を割り当てることができます。 	
スイッチ種別設定	SW-E6000をアシストモード切替用、もしくは変速用に設定できます。	
ドライブユニット設定	ライト有り/無しの設定を変更できます。	
表示機設定	表示単位	km表示とmile表示を切替えることができます。
	時刻	表示時刻を設定できます。
	バックライト	サイクルコンピュータのバックライトのON/OFFを切り替えることができます。
	ビープ	ビープ音のON/OFFを切り替えることができます。
	表示言語	英語/フランス語/ドイツ語/オランダ語/スペイン語/イタリア語から表示言語を選択できます。
	走行時間表示	走行時間表示のON/OFFを切替えることができます。
	平均速度表示	平均速度表示のON/OFFを切替えることができます。
	最大速度表示	最大速度表示のON/OFFを切替えることができます。
	走行可能距離一覧表示	走行可能距離一覧表示のON/OFFを切替えることができます。
変速機アジャスト設定	MU-S705のアジャストを行うことができます。 (通常は行う必要はありません)	
モーターユニット段数設定	MU-S705を8段設定、または11段設定に切替えることができます。	
その他の機能	<ul style="list-style-type: none"> • エラーチェック • ファームウェアアップデート • プリセット • ユーザーレポート <p>* 詳しくはE-tube Projectをダウンロードの上、付属のマニュアルをご確認ください。</p>	

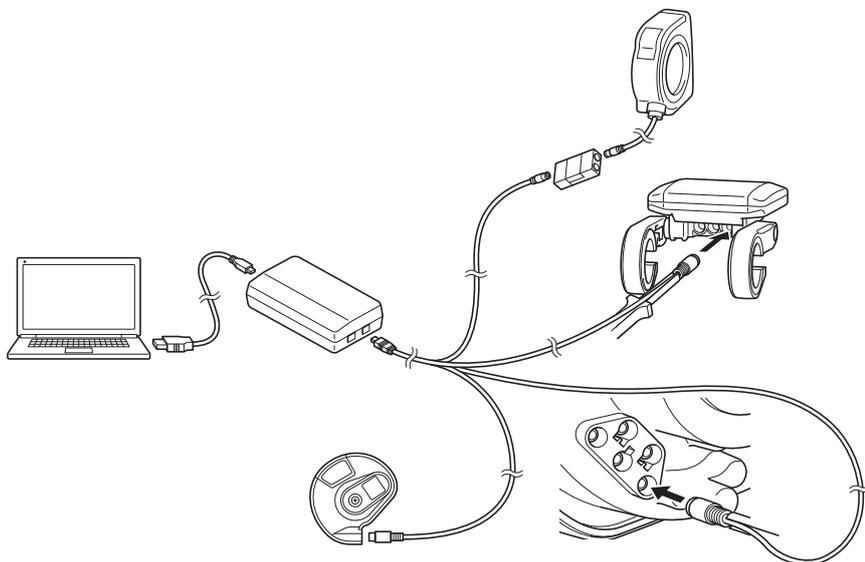
■ PCとの接続方法

ユニット単品でつなぐ場合

それぞれのユニットのコネクターへ、SM-PCE1を接続してください。



SW-E6000を単品で接続する場合は、SM-JC40/41が必要です。

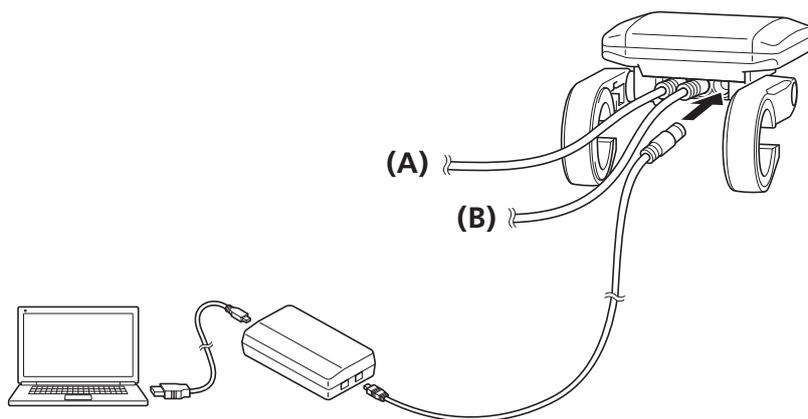


自転車への接続

< サイクルコンピュータに空きポートがある場合 >

サイクルコンピュータの空きポートにSM-PCE1を接続します。

1



(A) アシストスイッチ

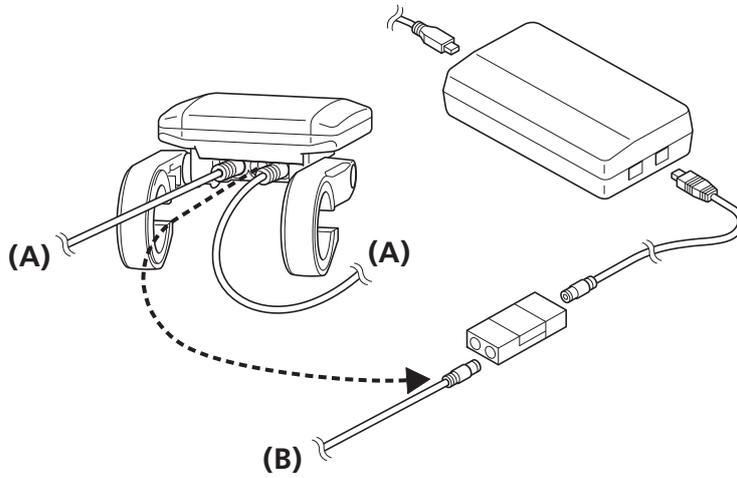
(B) ドライブユニット

< サイクルコンピュータに空きポートがない場合 >

まず、SM-PCE1にSM-JC40/JC41を接続します。
次にサイクルコンピュータの中央のポートからEW-SD50を取外し、
SM-JC40/JC41に接続します。

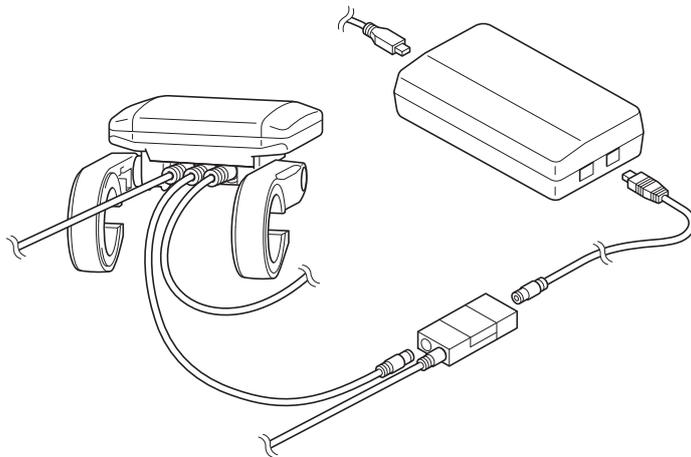
(A) アシストスイッチ
(B) ドライブユニット

1



2

SM-JC40/JC41の空きポートと、サイクルコンピュータの中央のポートに
EW-SD50を接続します。



メンテナンス

メンテナンス

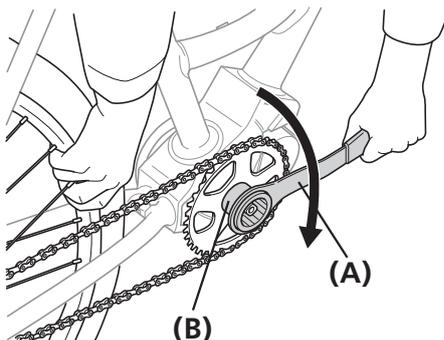
■ フロントギアの交換

1

後輪にチェーンが取付いている状態で作業します。クランクアームキャップを取外し、クランク取付けボルトを14mmソケットレンチで取外します。その後、TL-FC11を使用して右側クランクを取外してください。

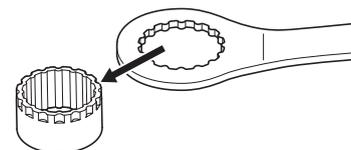
2

車輪を保持し、専用工具を使用して、ロックリングを図の方向にゆるめます。



(A) TL-FC36/FC32/FC33

(B) TL-FC38



ロックリングは左ネジです。

3

フロントギアを取外し、ギアを交換します。取付け方法は、「ドライブユニットの取付けと配線」-「クランクとフロントギアの取付け」の項を参照し、手順3～5に従って取付けてください。



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 **シマノ**
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577